

表 令和8年4月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第29～40号	3日、6日 16時00分 10日 16時10分 11日 09時00分 13日、17日、20日 16時10分 21日 16時00分 24日、27日 09時00分 16時30分 16時00分	南岳山頂火口で噴火活動継続。中旬頃から活発。11～13日、18日～21日に爆発。大きな噴石は最大で6合目(18日)。昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は概ね少ないが3日はやや多い。火山性微動が時々発生。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は2,800[t/日](4/16)と多い。 10日12時頃から山体膨張を示す地殻変動、11日12時04分に爆発、噴煙火口縁上3,400m、大きな噴石7合目。 20日09時頃から山体膨張を示す地殻変動、21日15時45分に爆発、噴煙火口縁上2,700m、大きな噴石8合目。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。	
			降灰予報(速報)	11日 12時23分 12日 08時36分 18日 23時54分 21日 15時54分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
			降灰予報(詳細)	11日 12時35分 12日 08時49分 19日 00時06分 21日 16時09分、58分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～21号	3日、10日、17日、24日 16時00分	ボンマチネシリ96-1火口の噴煙活動は活発な状態が継続。ボンマチネシリ火口付近では、2025年9月から火口方向が上がる傾斜変動が継続し、火口付近浅部は引き続き膨張した状態と考えられる。ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は、概ね少ない中で増減を繰り返しながら推移。 火山活動の活発な状態が継続。今後も噴火の可能性はある。	
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	3日、10日、17日、24日 16時00分	2024年2月以降、東岩手山のやや深部の開口割れ目や山体西側のやや深部の膨張を示す地殻変動を観測。2026年2月頃から観測されている開口割れ目の膨張と考えられる地殻変動は4月初めころから停滞の可能性。 2024年8月頃から認められている大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示唆する地殻変動は継続の可能性。 大地獄谷の地熱域は2024年11月上旬と比較してわずかに拡大。黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、少ない状態で推移したが、2024年5月以前よりは多い状態が継続。10日、16日に山頂やや深部の低周波地震が一時的に増加。 引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。	
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第47～57号	1日、3日、6日、8日、 10日、13日、17日、 20日、22日、24日、27日 16時00分	火山性地震は日回数が0～6回で、湯釜付近の地震活動は3月頃から低調。火山性微動は、2025年11月以降なし。湯釜地下浅部の膨張と考えられる緩やかな地殻変動や地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は鈍化し、4月上旬には概ね停滞。また噴気の化学成分比も、火山活動の低下を示唆する変化。 火山活動は高まった状態から、4月上旬には噴火警戒レベル2判定基準を上回る現象が観測されなくなる。	

令和8年4月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～33号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日 16時00分	火山性地震は、2024年4月中旬以降の増加した状態から、2025年7月頃から減少傾向、本年3月下旬頃から前1か月平均30回/日程度。山体西側での膨張と考えられる傾斜変動は、2024年5月以降停滞。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2023年4月以降、多い状態が続いていたが、2025年6月頃から次第に減少、12月頃から2023年3月以前の水準に戻る。山頂火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	3日 16時00分 10日 16時10分 17日 16時00分 24日 16時00分	9月8日以降噴火はない。火口直下の火山性地震は増減を繰り返しており、今期間は少ない状態で経過。火山性微動は3月6日以降なし。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、2025年3月頃から深部の膨張を示すわずかな伸びが認められたが12月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは7月以降認められない。火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性はある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	3日、10日、17日、24日 16時00分	硫黄岳火口では、白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動なし。GNSS観測の島内の一部の基線で、2026年2月頃から薩摩硫黄島と竹島間の膨張に対応する変化を観測。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態が継続。火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	3日、10日、17日 16時00分 24日 16時10分	御岳火口で噴火活動継続。爆発なし。高感度の監視カメラで火映を観測。御岳火口から南南西約3.5kmの集落で降灰を確認。火山性地震は、少ない状態。火山性微動なし。GNSS連続観測で、2024年10月以降、島の西側のマグマの蓄積量の増加を示唆する変動は、2025年11月頃から停滞。長期にわたり噴火活動が継続し、御岳火口周辺では、大きな噴石飛散の可能性はある。
十勝岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1～2号	20日 16時30分 21日 16時00分	20日14時56分に振幅の大きな地震、14時58分頃に継続時間約3分の火山性微動。山頂付近の傾斜計で火口方向が下がる傾斜変動。62-2火口の噴煙の高さは特段の変化なし。その後、地震回数減少、微動・傾斜変動なし。62-2火口、振子沢噴気孔群、その周辺で噴煙・噴気多く、熱活動が活発な状態継続。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。